



**春立小学校閉校式** 12/4

明治時代から109年の歴史を誇った春立小学校が、来年4月から東静内小学校に統合されることになり、閉校式が在校生や卒業生及び地域の方々、229人が出席して行われました。

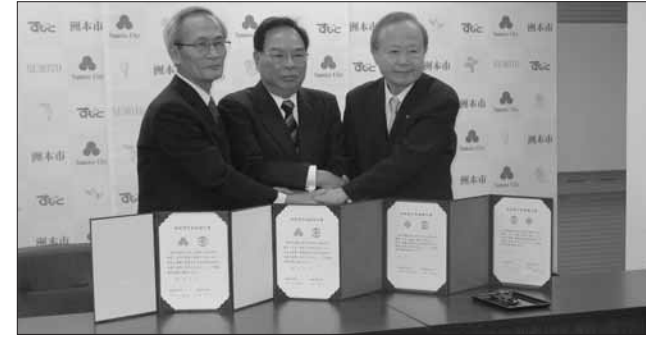
式典では、酒井町長が「これまでの輝かしい歴史、培われてきた伝統はいつまでも引き継がれていく」とあいさつ。最後に13人の児童たちが、地域とともに過ごした春立小学校での思い出を語り、「ありがとう」とお別れの言葉を述べ、学び舎に別れを告げました。



**北海道日本ハムファイターズ野球教室** 12/1

北海道日本ハムファイターズ新ひだか後援会(折手裕一会長)は、同チームの芝草宇宙1軍投手コーチと村田和哉外野手を招いて、三石中学校体育館で野球教室を開き、町内の野球少年団約60人が参加しました。

教室では、芝草コーチがバッテリー、村田選手が野手への指導を担当。子どもたちは、捕球のコツやバッティング方法などのアドバイスに、真剣に耳を傾けていました。



**姉妹都市提携再調印式** 11/25

町は、旧静内町時代から姉妹都市の徳島県旧脇町(現美馬市)と、それぞれ合併で市町名が変わったため、姉妹都市提携の再調印を行いました。

両市町共通の姉妹都市である兵庫県洲本市の合併5周年式典で、3市町長が一同に会することになったため、洲本市役所での再調印式となりました。歴史的なつながりの深い美馬市、洲本市と今後一層、良好な姉妹都市の関係を築いていこうと、固い握手を交わしました。

# ニュースフラッシュ

まちのできごと、話題をお届けします。



**感謝状贈呈** 12/5

日高中部消防組合は、火災現場で協力された本田強さん(静内緑町)と加藤稔さん(静内山手町)に感謝状を贈りました。

2人は、9月19日に町営緑町団地で発生した火災の際、自らの危険をかえりみず、火元の男性を安全な場所に誘導し、他の入居者に避難を呼びかけるなど、火災現場で迅速な行動をされました。感謝状を贈られた2人は「とにかく必死で行動した。けが人がなくて良かった」と話しました。



**第29回町民と隊員の音楽の集い** 12/3

新ひだか町自衛隊協力会と陸上自衛隊静内駐屯地による『第29回町民と隊員の音楽の集い』が町公民館で開かれ、約420人が来場しました。

陸上自衛隊第7音楽隊や静内染退太鼓のほか、三石なるこ会などが出演。迫力のある演奏や踊りに、会場からは大きな拍手が送られました。第7音楽隊の演奏では、サザエさんメドレーや襟裳岬など7曲が披露され、来場者は楽しい時間を過ごし、音楽を通し、自衛隊員との交流を深めました。



**第7回みつし牛枝肉共励会褒賞授与式** 12/1

みつし牛の資質改善を図り、生産農家の経営安定と銘柄確立を目指す『第7回みつし牛枝肉共励会』が11月30日に東京食肉市場で開かれました。

共励会には36頭が出品され、最優秀賞に中山重雄さん(浦河町)の『北楓21』が、優秀賞に畑端博志さん(三石本桐)の『夏糸福』『桃乃大福』などが選ばれ、中山さんは「これからもみつし牛の名に恥じない牛を生産していきたい」と話しました。



**白寿祝状授与** 11/21

松村コトさんが白寿を迎え、富田副町長から祝い状、町社会福祉協議会・川越会長から記念品が贈られました。

松村さんは根室管内中士別町出身で、昭和31年に故・国一さんと結婚。3男5女に、孫が23人、ひ孫が34人、やしゃごが5人とたくさんの方に恵まれました。現在は特別養護老人ホーム静寿園に入所。目が不自由ですが、一人で食事をし元気に暮らしています。



**海の幸で正月料理** 12/13

三石地域マリンビジョン協議会による『海の幸で正月料理講座』が三石小学校で開かれ、参加者は地場産のサケを使用したエスカパージュ作りなどに挑戦しました。



**しずない海味の市** 12/4

地場産海産物を特價販売し、消費拡大を目指す『しずない海味の市』が町観光協会ぼっぽで開かれ、お歳暮用などの新鮮な海産物を求め、多くの町民でにぎわいました。



**フットパス体験会** 12/3

JR日高三石駅を起点終点に『フットパス体験会』が開かれ、38名が参加しました。参加者は牧場などの風景を楽しみながら、約7kmのコースを歩きました。



**三石老人スポーツ大会** 12/2

三石中学校体育館で『第38回新ひだか町三石老人スポーツ大会』が開かれ、285名が参加しました。参加者は元気なプレーを披露しながら、親睦を深めました。